

ホームページ掲載用の研究概要

研究課題名：肺癌検診喀痰細胞診で発見された肺癌の発生部位の推移と細胞像の検討

本研究は、人を対象とする医学系研究に関する倫理審査委員会の審査結果（承認）を踏まえて理事長が許可した研究であり、1995～2012年の喀痰集検のうち、喫煙指数600以上の受診者が70%を超える13市町村の全受診者74,615人を対象とした。喀痰細胞診が契機で発見された肺癌の発生部位（中枢型・末梢型）の推移について検討し、肺癌病期、肺癌組織型、細胞判定の比較検討を行います。

肺癌検診喀痰細胞診は肺門部早期扁平上皮癌の発見を目的に実施されておりますが、以前より末梢型扁平上皮癌も発見され、近年では増加傾向が認められております。喀痰検診で発見されている肺癌の動向を調査し、肺癌のタイプや特徴を認識することは検診の精度管理においても重要です。そこで肺癌の発見率向上を目的に、肺癌の発生部位（中枢型・末梢型）の推移とともに、肺癌の病期、組織型、細胞判定について比較検討を行います。この研究で得られたデータは、喀痰細胞診で発見される肺癌として重要な資料となり、癌発見率向上に貢献できる可能性が考えられます。

本研究における個人情報等の扱いは以下の通りです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除した上でデータ分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者および分担研究者は、本研究に関して利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについて、ご同意いただけない場合、またお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

研究責任者

検査部 病理・細胞診断科 副主幹 田口明美